

令和8年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立中道小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本校は「豊かな心をもち、心身共に健康な子どもの育成を図る」を学校目標に、「よく考える子」「思いやりのある子」「からだを大切にする子」「すなおで礼儀正しい子」「協力する子」をめざす子ども像に掲げて、日々の教育活動に取り組んでいる。

- 「安全・安心な教育の推進」においては、自分の存在を発信し、身の安全にもつながる「あいさつ」と、自ら安全・安心な生活が送れることをめざした「学校のきまりを守る」ことの指導が重要である。令和7年度の小学校経年調査の「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、82%だった。今後もいじめや不登校対策や児童に寄り添う教育を推進していきたい。また、令和7年度の小学校経年調査・校内調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合が79.5%以上だった。児童の自尊心を高める教育を推進していきたい。不登校児童は、令和7年度はいなかったが、不登校ぎみの児童がおり、登校できるよう取り組んできた。令和11年度末にむけて不登校児童ぎみの児童も含めた対応を組織的に取り組んでいきたい。

令和7年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目では、肯定的に答える児童の割合は82.7%であった。この結果からみると、児童の意識は低い児童もみられる。具体的なきまりや約束について振り返ってみると、教職員の目からも、十分には守れていないと考えられるものもある。今後は、規範意識の向上とともに相手の立場を考え、認め合う思う気持ちを育みたい。

- 「未来を切り拓く学力・体力の向上」については、子どもの実態に即して習熟度や興味・関心に応じた課題別の分割を行い、基礎学力向上の成果をあげてきた。小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は79.6%であった。今後もさらなる向上を目指して指導に当たりたい。かけ足タイムの設定や体育科の学習カードの効果的な活用により、子どもたちの体力・運動能力も向上している。令和7年度の経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答した児童の割合は、83.5%であった。今後も運動が好きと答える子どもを増やしていきたい。

- 「学びを支える教育環境の充実」については、ICT機器を使った調べ学習や連絡帳や心の天気等で活用率が伸びてきている。様々な学習場面に取り入れ、積極的な活用を図ってきた。そのことで授業の中での活用は今後も子どもたちが、あらゆることに効果的に使いこなせるように、活用の幅を広げていきたい。

働き方改革については、「学校園における働き方改革アクションプラン【2026-2029】」を進めるために、年間の平均時間外勤務時間の削減を目標に掲げ、計画的に取り組んでいきたい。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 令和 11 年度の小学校経年調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 令和 11 年度末の校内調査で、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、80%以上にする。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も 0.03 ポイント向上させる。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週 3 回以上と回答する児童の割合を、55%以上にする。
- 令和 11 年度の教員 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和 7 年度（25 時間 30 分）より 2 時間削減する。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】

- ① 令和8年度の小学校経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82.1%以上にする。
- ② 令和8年度の小学校経年調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。
- ③ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

- ④ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目に肯定的に答える児童の割合を82.7%以上にする。

### 【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ① 令和8年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。
- ② 令和8年度の小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- ③ 令和8年度の小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

#### 学校園の年度目標

- ④ 令和8年度末の「せいけつ調べ」において、はんかち・ティッシュ携帯の割合を65%以上にする。

### 【最重要項目 3 学びを支える教育環境の充実】

- ① 令和8年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を、50%以上にする。
- ② 令和8年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和7年度より30分削減する。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立 中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>① 令和8年度の小学校経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、82.1%以上にする。</p> <p>② 令和8年度の小学校経年調査の「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。</p> <p>③ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>④ 令和8年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を82.7%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 いじめへの対応】</p> <p>いじめのアンケート調査を定期的実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取り、対応・指導に努める。</p>	
<p>指標 いじめのアンケート調査を定期的（5月・10月・1月）に行い、早期解決を図る。</p>	
<p>取組内容②【1 不登校への対応】</p> <p>たてわり班を活用した、児童会活動の行事と毎週木曜日のたてわり集会を実施する。（代表、集会）</p>	
<p>指標 学校アンケートに「自分のよいところがありますか。」の項目を肯定的に回答する児童の割合を、82%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【1 不登校への対応】</p> <p>区役所（地域子育て支援）、SC（スクールカウンセラー）、子ども相談センターとの連携を図り、生活指導全体会（月1回 スクI会議を兼ねる）で課題を共有し、解決を図る。</p>	
<p>指標 校内の生活指導全体会（月1回 スクI会議を兼ねる）で定期的に情報共有を行う。また、区役所（地域子育て支援）【学期に1回のスクII会議】、子ども相談センター、SC【隔週】、と定期的に連絡を取り合い、連携して対応していく。</p>	
<p>取組内容④【5 道徳教育の推進】</p> <p>みんなが安全・安心な生活が送れるように、校内でのきまりや約束を守り、規律ある行動がとれるようにする。</p>	
<p>指標 きまりを守ることを様々な場で指導する。廊下・階段等の学校のきまりを守り、安全・安心な学校生活が送れるよう、それぞれの委員会活動で1年間に1回啓発活動を考え実施する。（給食、健康、運動、情報、図書委員会）</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

後期への改善点

大阪市立 中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>① 令和8年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を、75%以上にする。</p> <p>② 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。</p> <p>③ 令和8年度の小学校学力経年調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>④ 令和8年度末の「せいけつ調べ」において、はんかち・ティッシュ携帯の割合を65%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4主体的・対話的で深い学びの推進】</p> <p>教科・領域において、授業を通して自分の思いや考えを伝えたり、相手の意見を聞いたりするような活動を取り入れる。</p> <p>指標 児童アンケートの「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」の項目の肯定的な回答の割合を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【4言語活動・理数教育の充実】</p> <p>国語科を中心に興味・関心に応じた指導の工夫をし、基礎的・基本的な内容の定着を図り、子どもたちの読み取る力を育てるような手立てを取り入れる。</p> <p>指標 国語の単元末の評価テストの平均正答率を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【5体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <p>進んで運動する子どもを増やすために、体育の授業や遊びを通して体を動かし、運動に親しむ心を育てる。</p> <p>指標 児童アンケートの「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目の肯定的な回答の割合を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【5健康教育・食育の推進】</p> <p>「せいけつ調べ」の取り組みを通して、児童の健康生活への意識向上を図る。</p> <p>指標 月1回「せいけつ調べ」を設定するとともに、委員会活動や配布物による児童への啓発を実施する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

後期への改善点

大阪市立 中道小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>① 令和8年度の小学校学力経年調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を、50%以上にする。</p> <p>② 令和8年度の教員1か月あたりの平均時間外勤務時間を、令和7年度より30分削減する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【6 ICTを活用した教育の推進】</p> <p>1人1台端末の環境を生かし、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、ICT機器、特に児童用パソコンの活用を進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>令和8年度末児童アンケートにおいて、「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週3回以上と回答する児童の割合を、50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【7 働き方改革の推進】</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が働きやすい環境の整備を進める。</p> <hr/> <p>指標 週一回のゆとりの時間を設け、互いに助け合いながら、1か月あたりの平均時間外勤務時間を、昨年度より30分削減する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点